



## 編集雑記

## 既刊案内

(特集・主要記事)

### [ 4月号 ]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.5」高知大学 教育研究部自然科学系農学部 水環境工学 教授 藤原拓氏を訪ねて～「コベネフィットで柔軟な技術」を用い地域に価値を～…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「水ビジネスの今後の海外展開の方向性」を取りまとめました…経済産業省 ◎水道法の一部を改正する法律案の概要…厚生労働省 ◎熊本地震等からの復旧・復興工事を加速化～「復興係数」等の施工確保対策を新たに導入～…国土交通省 ◎気候変動適応策を推進するための科学的知見と気候リスク情報に関する取組の方針について…環境省 ◎法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)…国土交通省 ◎処理水を循環する散水式水処理技術の導入ガイドライン策定～標準活性汚泥法による消費電力量を53%削減！～…国土交通省 ◎日本初 下水道事業のコンセッション方式が事業開始に向けて大きく前進～浜松市がコンセッション方式の優先交渉権を決定～…国土交通省 ◎中小企業の地球温暖化対策の実態を初めて調査し、集計結果をとりまとめました…経済産業省 ◎環境省花粉観測システム(愛称:はなごさん)の稼働について…環境省 ◎「明日への道標」秘して語ることなかれ～ロスチャイルド家の掟～…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎建築配管用ポリエチレン管の製品概要と需要動向 スーパータフポリ…(株)クボタケミックス 江頭司 ◎「東京ブラリルポ」乃木坂から赤坂へ…(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎公共建築工事における塩ビライニング鋼管採用40周年を迎えて…配管システム研究会 南宗庵 ◎「トビックス」トイレブース工事で特別研修…(株)岡本 ◎「LaCoon」新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎マンション建築考-8- ヴィンテージマンションの考現学…三浦義幸 ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE 研究所でこうじ ◎建築着工統計(2017年1月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

### [ 5月号 ]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.6」関東学院大学 理工学部理工学科 化学系系環境工学研究室准教授 鎌田素之氏を訪ねて～水道水質の安全性確保を目指して～…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「海外レポート」ベトナムへの初出張～日本の高度成長期もかように活気に溢れていたのでしょう～…国土交通省水管理・国土保全局 下水道部長 森岡泰裕 ◎公共事業労働費調査(平成28年10月調査)における社会保険加入状況調査結果の公表…国土交通省 ◎平成29年度より若者の技能検定受検料が減額されます…厚生労働省 ◎長期地球温暖化対策プラットフォーム報告書を取りまとめました…経済産業省 ◎まち・住まい・交通の創畜省エネルギー化モデル構想が策定されました～低炭素社会の実現に資する先導的な地域構想の策定支援…国土交通省 ◎2015年度(平成27年度)の温室効果ガス排出量(確報値)について…環境省 ◎新たに「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します…厚生労働省 ◎「明日への道標」祝祭の街を遠く離れて～堤 清二と失われた西武王国へ…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎配管圧力・満水試験 自動測定・データ管理システム～みるみるくんⅡ～＜簡単・正確・確実な計測と記録＞…レックス工業(株) 三浦 亮 ◎「東京ブラリルポ」石神井川沿いに飛鳥山公園へ…(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎マンション建築考-9- ヴィンテージマンションの考現学…三浦義幸 ◎「トビックス」トイレブース工事で特別研修…(株)岡本 ◎「LaCoon」新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎配管ビジネスマンのための読書案内(第1回)…建築設備配管スクール ◎心眼を開いて禅学を志す(第5回)…井出浩司 ◎建築着工統計(2017年2月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

沖縄返還協定が1972年に発効して45年目を迎えた。アメリカ占領支配下の沖縄の通貨はドル、車道は右、日本から訪れるのにパスポートが必要だった。本土復帰後も国土面積の0.6%の南の島に在日米軍基地の70%が集中し、凶悪犯罪や軍用機の事故が多発している。わたしには沖縄の人々の尊厳がいまも脅かされているとしか思えない。

異様な状況の只中でも沖縄固有のアイデンティティは持続的に追求されてきた。琉球民謡と洋楽を和合させたウチナー・ポップもそのひとつだ。バリ島のガムランなどと共通するドミファソシドの琉球音階はフォークソングやロックと出会ってウチナー＝沖縄ならではの新たな音色を紡ぎ出した。喜納昌吉きなしやうきち&チャンブルーズ、りんけんバンド、ネーネーズなどがメジャーシーンに躍り出る。

1985年の夏、わたしは日比谷野外音楽堂で喜納のステージをはじめて見た。前座は人気上昇中のブルーハーツ。いよいよ喜納が登場し、戦争より祭を訴えて「ハイサイおじさん」を歌い出すと前列の客が総立ちで踊りはじめた。わたしは最後尾の鉄柵にもたれながらハイサイ＝こんにちとはと口ずさんでいた。隣には俳優の原田芳雄がいた。

喜納の代表作「花～すべての人の心に花を」は16歳のときにテレビで観た東京オリンピックがきっかけになった。閉会式で選手が国境を超えて手を握り、肩を組み、抱きあっていた。アナウンサーはその表情を「泣いています、笑っています」と伝えた。やがて「泣きなさい、笑いなさい」というサビのメロディーが舞い降りてきた。(高倉)

### 給排水・環境設備の総合誌

月刊「コア」第331号

平成29年6月1日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884